

IPW緩和ケアコース

多職種協働 事例検討研修

日時 2025/ **7/12** 土 申し込み締切り：7月5日（土）

第2回 **麻薬の不適切使用と精神依存** 13:00-16:00 (全6回)

事例 Aさん(60歳代男性)は「腓骨部がん」と診断され、不安な気持ちで、居ても立ってもいられない様子である。また痛みの訴えが強く、オピオイドを増量してもレスキュー回数 は8~10回/日もある。主治医は麻薬依存症かも、と判断し、他の薬剤に切り替えた。Aさんの痛みの訴えと落ち着きのなさは増強し、ある日主治医に「痛みをどうにかしろ！」と怒鳴った。Aさんは依存症(ケミカルコーピング)なのだろうか？

講師 高林 真貴子氏（金沢大学病院 緩和薬物療法認定薬剤師）

会場 オンライン
(ZOOM)

対象 医師・看護師・
MSW・薬剤師など

5/10 土 倫理ジレンマ

事例 認知症高齢者のAさんに積極的
化学療法がなされている。家族
の要望ではあるけれど…

講師 京都大学 臨床倫理准教授

9/13 土 「怒り」の
矛先になる時

事例 BSCを告げる時、激しい「怒り」
で、治療継続を求めるAさんと
家族にどう対応する？

講師 がん研有明病院 精神腫瘍科部長

11/8 土 AYAの治療拒否

事例 AYA患者のAさんは、治療を拒否
する。家族は治療希望で医療者
間でも意見が分かれて…

講師 聖路加国際病院 小児科部長

1/10 土 多問題家族：
ヤングケアラー

事例 家庭内別居のAさんは、長男(中
学生)を頼りに療養し、病院への
付き添いも長男である

講師 がん研有明病 がん看護専門看護師

3/14 土 終末期鎮静療法
とSDM

事例 耐え難い苦痛でAさんは、「鎮
静療法」を選んだ。家族は夜
間・休日問わず、説明を求める

講師 国立がんセンター 緩和ケア医長

申込

長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」から、または右のQRコードから
お申し込みください。その際に、申込みフォームお問合せ欄に、第何回を受講され
るかを記入してください。 例：全回希望、第2、3回希望 など

